



医療法人社団和風会

広島第一病院

入院のご案内

2026.3



〒732-0013 広島市東区戸坂南二丁目 9-15

TEL : 082-229-0211

FAX : 082-220-2178

<http://www.wafukai.jp>



□ 1. 入院に際して

入院となりましたら、患者さまの情報（既往歴等）の聴取及び入院に関する事務手続きを速やかに行います。

【入院手続きに必要なもの】

- ① 保険証、マイナンバーカード、限度額適用認定証（お持ちの方）
- ② 各種医療受給者証（重度障害者・ひとり親・原爆手帳など）
- ③ 現金【入院保証金・保険外自己負担金（入院管理費、お小遣い、充当金等）】
- ④ 入院形態により、ご家族の印鑑と身元を確認できるものが必要となります。

- 入院の際はご家族の方（ご両親 配偶者 兄弟姉妹 子など）等、病状を把握している方が、必ず付き添ってください。
- ご希望により、個室を利用することができます（有料）。
利用状況によりご希望に添えないこともありますので、ご了承ください。
- 訪問歯科のご利用ができます。
- 理美容、売店のご利用もできます。

□ 2. 入院費用について

入院費等は、0：00 を起点に日数計算いたします。

例) 23：00 に入院し、翌日 3：00 に退院された場合は、2 日分となります。

- 入院中の患者様の請求書は、月末〆、翌月15日に発行されます。
- お支払いは、翌月15日以降月末までに面会窓口にてお支払いください。
- 退院される患者様の請求書は、退院の際にお渡しいたしますので、面会窓口にお声掛けください。
- 退院が、時間外・休日の場合は、翌日以降となる場合があります。
- お支払い時間 9：00～17：00（日・祝日の12：30～13：30は除く）
- ご不明な点がございましたら、面会窓口にお尋ねください。
- 領収書の再発行はできません。大切に保管してください。
-

□3. 入院生活に必要なもの

- 入院の際は、日用品など必要なものがありますのでお持ちください。一部は売店で買うこともできます。
- 紛失防止のため、持ち込み品にはマジックなどで名前の記載をお願いします。
- 次の物品は火災及び危険防止のため、持ち込みはご遠慮ください。
 - マッチ、ライター ● 刃物 ● ガラス製品 ● 針 ● 薬品 等

【ご用意いただくもの】

①衣類・履物

- 上下衣 ● 下着 ● 室内履き

②洗面道具・日用品

- タオル ● バスタオル ● 歯ブラシ ● 歯磨き粉 ● 電気カミソリ（T字かみそり不可）
- シャンプー ● ボディソープ ● コップ2個 ● ティッシュ

* 持ち込みの荷物は最小限でお願いいたします。

* ベルト、紐類が使用されている衣類はお控えください。

* 貴重品はお預かりできません。

* 3病棟入院患者様は、入浴セット（シャンプー、ボディソープ、フェイスタオル、バスタオル）利用の為、ご用意の必要はございません。（有料）

□4. 入院当日について

- 保険証、紹介状等を受付へご提示ください。
- 持参薬、入院のお荷物は看護師へお預けください。
 - * 現在使用されているお薬（他の医療機関等で処方され服用している薬、目薬等含む）がありましたら、すべてご持参ください。「おくすり手帳」や「薬剤説明書」も一緒にお持ちください。
- 看護師より、お食事についてお尋ねさせていただきます。
- 診察室にお呼びいたします。
- 入院手続きについて相談員が説明いたします。
- 入院保証金等をお預けください。（退院精算時、入院保証金の領収書が必要となりますのでご持参ください。）
- 患者さま：病棟看護師がまいりますので、入院病棟へご案内いたします。
- ご家族さま：相談員が面会通用口より、入院病棟へご案内いたします。

□ 5. 入院生活について

ご本人確認のために

- 入院後の多くの場面で患者さまのお名前をフルネームで名乗っていただく「お名前確認」をしております。患者さまの安全を守るためです。ご理解、ご協力をお願いします。

お薬について

- お薬は、病棟スタッフが決まった時間にお渡しします。
他の医療機関等で処方された薬も含め、入院時に持参いただいた薬の内容を医師が確認し、継続して使用する薬を判断します。

お食事について

- 食事時間 朝食8:30～ 昼食12:00～ 夕食18:00～
- 治療の一環として病状や年齢に応じたお食事（一般食又は治療食）を用意いたします。
- 食物アレルギーのある方は、事前に申し出ください。
- 食べ物の持ち込みは、食中毒の原因や治療の妨げになる場合もありますので、ご遠慮ください。
- 病状により、食事制限のある方もいらっしゃいます。患者さま同士の食べ物のやり取りはご遠慮ください。

洗濯について

- ご自身で洗濯できる方は、病棟内の洗濯機・乾燥機をご利用いただけます。
洗濯カードを売店で購入しご利用ください。
- ご自身で洗濯が困難な方については、洗濯代行業者と委託契約していただきます。
- 代行業者に委託される場合は、1 ネット990円のクリーニング代がかかります。売店にて専用の洗濯ネットを3枚貸し出します。（退院時要返却）

紙おむつセットのご案内について（日額定額制）

- ご入院中に必要なテープタイプ、パンツタイプの紙おむつや尿取りパットなどを日額定額制でご利用いただけるサービスです。入院準備や補充のお手数が軽減されるとともに、高性能な紙おむつをご使用いただけます。すべての方を対象にワタキューセイモア株式会社と直接契約をしていただきます。

売店のご案内

- 院内には売店があります。
- 病棟毎に利用できる時間が異なります。

営業	曜日	月～金	土日祝
	時間	10:00～16:00	休み

面会について

- 面会時間は、10:00～11:30、13:30～16:00です。（別紙案内をご覧ください）
感染症発生時、面会を急遽中止する場合や時間を変更する場合があります。
- 入院中の処遇「電話・通信・面会」は原則として制限されません。
治療上やむを得ない場合には、主治医の指示で制限されることがあります。
- 面会時の間食などの持ち込みは、面会時間内に食べられる物・量でお願いします。
衛生上、管理上、差し入れ品をお預かりすることはできません。

外出 外泊について

- 外出・外泊の場合は、事前に主治医の許可が必要です。無断外出・無断外泊は禁止されております。
外出・外泊の際は原則、病院スタッフによる送迎や付き添いは行いません。ご家族の送迎等の協力が必要です。また、院内であっても、病棟を離れる際は、病棟スタッフへ行先をお伝えください。
- 外泊時間 原則 9時30分以降16時30分まで

転室 転棟について

- 病状によって、主治医の指示によりお部屋の移動や転棟になる場合があります。

入院中の他医療機関への受診について

- 当院で治療又は検査できない病気などを併発した場合、他医療機関を受診していただく必要があります
その際ご自身で受診できない場合は、ご家族の同伴が必要です。病院のスタッフによる送迎は原則行いません。
- すでに受診予約がある、受診を希望される場合には、医師、病棟スタッフにご相談ください。

貴重品 現金について

- 多額の現金や貴重品などはお持ちにならないでください。
- 病棟により、個人ロッカー（有料）やチェスト（鍵貸与）の利用ができます。利用については、主治医の許可が必要です。万一の紛失、盗難等による損害に関しては、当院では責任を負いかねます。

喫煙の禁止について

- 健康増進法により、院内全館禁煙です。

器物破損 備品紛失について

- 病院の設備・物品等の破損や、チェスト等の鍵を紛失された場合には、状況に応じて弁償していただくことがありますのでご了承ください。

暴言 暴力 迷惑行為等について

- 医療安全の観点から、ご面会者を含め、以下の迷惑行為や、その他の入院治療上、不適切と思われる行為を禁止します。

- 院内の秩序に反する行為
- 執拗なクレーム
- 暴言 暴力 威嚇 ハラスメント行為
- ブログ SNS 等での誹謗中傷の記載
- 備品の持ち去り
- 器物破損
- 禁止物 危険物の持ち込み
- 長時間の居すわり

- 院内のルールを遵守いただけない場合は退院していただくこともあります。また、場合によっては警察に連絡させていただくこともあります。迷惑行為を受けた、また目撃した場合は、病院スタッフまでお申し出ください。病状に起因する迷惑行為については、個別に看護の強化や対策を講じます。安全で安心な入院生活を送っていただくために、ご理解とご協力をお願いします。

病院撮影 SNS などの禁止について

- 個人情報保護の観点から、病院内での撮影、録音はお断りします。また、他の患者さまのプライバシーの侵害や迷惑となる撮影および公衆送信（ブログ SNS 等）も固くお断りします。

非常事態時の対応について

- 火災その他非常事態が発生した場合には、病院スタッフの指示に従い避難してください。

トラブル防止について

- 患者さま同士の金銭や物品の貸し借りはトラブルの原因となりますので、固くお断りします。
- 他の患者さまの病室への出入りはご遠慮ください。
- 患者さま同士での連絡先の交換は、トラブルとなることがあります。ご注意ください。

□ 6. 入院生活における留意点

感染対策について

- 院内感染防止の観点より、当院では面会時マスク着用が必須です。
入口で手指の消毒を行い、マスク着用の上、指定の場所にて面会してください。
発熱、咳、下痢などの体調不良の方は、ご遠慮下さるようお願いします。

転倒 転落について

- 入院生活は住み慣れたご自宅の生活環境や習慣とは異なります。
認知機能障害やせん妄をはじめとした精神症状により、転んだり、ベッド等から転落したりすると骨折などのケガを負う場合があります。滑りにくい履き物をご用意ください。
- 万一、転倒 転落した場合は、速やかに病棟スタッフにお知らせください。

誤嚥 口腔ケアについて

- 入院生活がご自宅での環境や習慣とは異なることや、薬の副作用などで、摂食嚥下機能に低下をきたす可能性があります。摂食嚥下機能の低下を認める患者さまには、リハビリテーションの一環として、病棟スタッフによる食事介助や摂食嚥下機能に配慮された食事（ミキサーにかけた食事など）の提供などにより、嚥下機能維持、誤嚥予防支援を行います。
- お口のトラブルを予防するために、歯科受診の推奨や口腔ケアを行います。その際には、ケア用品の購入が必要となる場合があります。院内訪問歯科診療もご利用いただけます。

薬の副作用について

- 精神科治療においては、薬物療法は不可欠な治療手段です。種々の薬剤の飲み合わせについては、主治医、薬剤師とともに監査をおこないます。ご本人の既存の身体疾患や栄養状態などによっては、副作用を呈する場合があります。重篤な副作用症状が認められた場合には、身体的治療を優先する場合があります。

その他の注意点

- 患者さまに対する看護 介護には十分留意いたしますが、突発的な事態を完全に防ぐことはできません。事故が発生した際には、迅速に対応いたします。事故または身体的合併症に関して、可能な範囲で当院にて治療させていただきますが、当院の限られた設備では十分な治療ができない場合には、転院をお願いしています。（別紙ご参照ください。）

相談窓口のご案内

- 外来、地域支援センター、各病棟相談員（精神保健福祉士）へお気軽にご相談ください。入院生活で困っていることや分からないこと、退院後の不安、入院費等の経済的な問題、家族のこと、学校や仕事のこと、医療福祉制度の利用など、様々な相談をお受けしております。
- 主治医との面談は事前予約制となっております。ご希望の場合は、病棟スタッフもしくは担当精神保健福祉士にご連絡ください。日程の調整を行います。